

## 「第4回インフラメンテナンス・シンポジウム」で講演、受賞

インフラメンテナンスの特色ある取り組みを公表・共有する場で、「優秀講演者賞」

2025年2月27日・28日に土木学会講堂（東京都新宿区）およびオンラインのハイブリッドで「第4回インフラメンテナンス・シンポジウム」（主催：土木学会インフラメンテナンス総合委員会・アクティビティ部会）が開催され、2日間で全58件の講演がありました。

その中で、株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎）社員の講演が、「優秀講演者賞」を受賞しました。

当社社員が発表し、受賞した講演概要等は以下の通りです。

タイトル・講演者	講演概要
テーマ： 技術とプロジェクト（4）－実践研究論文  地下壕の健全性評価および維持管理 のための点検手法の提案  佐藤 幹	佐世保市にトンネル横丁と呼ばれる、戦中に作られた地下壕を現在も店舗等として活用している市場（戸尾市場）がある。店主は地下壕の地主である佐世保市へ借地料を支払い、毎年審査を受けて店を運営している。  地下壕の上には、統合によって廃校となり、今は地元のNPO法人が運動施設として運営管理しているグラウンドや旧校舎、旧体育館があり、市街地に位置することもあって利用者は多い。廃校が決まるころから学校跡地をどのように活用するか、市、地元が継続的に協議・検討をしている。  本論文では、市場を存続させた場合に問題となる地下壕の健全性を評価するために行った調査や評価の手法と結果について述べる。また、この歴史的な地下構造物を維持管理するための今後の点検手法等を提案する。

以上